

1. 件名：「志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（63）」

2. 日時：令和4年11月30日（水）13時30分～15時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：野田企画調査官、海田主任安全審査官、宮脇安全審査専門職、大井安全審査専門職

北陸電力株式会社：小田常務執行役員、藤田執行役員 他8名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について
敷地近傍の断層の評価（コメント回答）断層の活動性評価方針

・ 志賀原子力発電所2号炉 適合性審査コメントリスト

【敷地周辺の地質・地質構造】

時間	自動文字起こし結果
0:00:08	はい、原子力規制庁の大井です。
0:00:10	時間になりましたので本日のヒアリングを始めさせていただきます。本日の内容は志賀原子力発電所2号炉、敷地周辺の地質構造についての
0:00:20	断層の活動性評価方針。
0:00:23	について等は、ヒアリングを始めたいと思います。
0:00:27	それではですね、事業者の方から資料1点、
0:00:31	ご説明をお願いいたします。
0:00:35	北陸電力の藤田です。
0:00:38	11月1日の審査会合ですね、我々のちょっと資料、深い議論ができないような形で作成して、
0:00:48	11日の議論を踏まえて今回資料を少し過去の経緯も含めて整理いたしましたので、改めてご説明させていただきたいと思います。
0:00:56	説明の方は、前科からの変更点と、これまでの経緯を振り返るところありますので20分程度いただいでご説明したいと思います。
0:01:05	説明は木村の方から行いますよろしく申し上げます。
0:01:11	北陸電力の木村です。本日はよろしく申し上げます。
0:01:15	まず初めに、資料の確認をさせていただきます。
0:01:19	敷地近傍の断層の評価、括弧コメント回答で断層の活動性評価方針と書いた資料が1点でございます。
0:01:29	それではこの資料に基づいてご説明いたします。説明は20分、約20分を予定しております。
0:01:36	まず資料の3ページをご覧ください。
0:01:41	当社は、10月13、14日の第2回現地調査で受けた今年コメントのうち、断層の活動性評価方針につきまして、11月11日の会合でご説明しました。
0:01:55	その会話におきまして、活動性評価方針の変更点と、その経緯、データ拡充の目的、内容等の記載が不十分で、
0:02:05	論理構成が明確でないと。
0:02:08	言った、ご指摘があったことを踏まえまして、今回改めて、断層の活動性評価方針についてご説明を行います。
0:02:18	4ページは敷地周辺の地質地質構造に関する、に該当コメントの一覧になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	前回の会合では、現地調査も、初めての会合ということで、敷地内のコメントの一覧表をつけておりましたが、今回は断層の関連ということで、
0:02:35	敷地周辺のコメント一覧表のみをつけております。
0:02:40	それでは断層の活動性評価の見直しの経緯につきまして5ページをご覧ください。
0:02:46	これまでの評価方針を、5ページの左側に記載しております。
0:02:52	これまでは、①の地形面の変位の有無に係るよる評価と、②の鉱物脈法による評価の二つ、主たる根拠として、評価を行ってございました。
0:03:04	このうち②につきましては、※1のところに、の記載になりますけども、現地調査において、説明した鉱物脈データについては、断層の最新面と交通訳との関係が明瞭ではなく、
0:03:18	断層の活動性評価の方針について、再検討を求めるというコメントをいただきました。
0:03:26	そこで、今回見直した評価方針を右側に記載しております。
0:03:32	現地調査でご説明しました鉱物脈データを再観察した結果、当該データを評価に用いることが困難と判断したことから、①の
0:03:43	地形面の変位の有無による評価を主たる根拠とすることにしました。
0:03:48	この①の評価を、確実性を向上させるために、
0:03:52	※2で記載の通り、段丘面と認定した根拠を充実させた上で、段丘面下の岩盤上面にも高度差が認められ、認められないことを確認するために、データ拡充を行います。
0:04:07	さらに、①の評価の信頼性を、評価結果の信頼性を向上させるために、※3に記載の通り、
0:04:15	③の、かつ活断層非活断層との破碎部性状の比較からの評価。
0:04:22	それから④の福浦断層との切り合い関係からの評価結果と、
0:04:27	①の評価結果は整合することを確認するというのを付け加えました。
0:04:34	なお②の鉱物脈法による評価につきましては、今後説明性の高いデータがえられた場合には、活動性評価の根拠として用いることにします。
0:04:45	以上が、断層の活動性評価方針の見直しの経緯になります。
0:04:50	詳細な内容につきましては、後程、20ページでご説明いたします。
0:04:55	次の6ページは今回の資料の目次となりまして、
0:04:58	7ページからは、(1)としまして、敷地周辺の活断層評価フローにおける断層の評価についての説明になります。
0:05:09	8ページをご覧ください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:12	敷地周辺陸域の活断層評価は、中ほどのフロー図に示す通り、
0:05:18	Aの文献調査、Bの空中写真判読で抽出された断層やリニアメント等につきまして、Cの活動性及び長さの詳細調査、
0:05:29	そしてDの評価を実施することとしております。
0:05:33	ページの下の方に、実際の福浦断層と断層の評価の流れを示しておりますけれども、断層は、Aの文献調査とBの空中写真判読のいずれにおいても抽出されなかったものになりますが、
0:05:47	下の図を、丸井で示しました、福田断層のA Cの地質調査の過程で、大坪がダム建設時の地質観察データで確認された断層になります。
0:06:00	ここで確認された断層は、敷地近傍にあるということを考慮しまして、下の図のマルBで示しますように、改めてAの文献調査からDの、
0:06:13	A評価までの一連の調査、評価を行いました。
0:06:18	この断層のフローのうち、緑色で囲った部分を、本資料の(2)の断層の分布性状、
0:06:27	というところ。
0:06:28	で、赤色で囲った部分を、断層の活動性評価というところで、詳細にご説明します。
0:06:36	なお(4)では、今回データ拡充する内容について、一覧表等で整理したものを付けております。
0:06:45	続いて9ページからは、(2)の
0:06:48	断層の分布性状としまして、10ページが企業調査結果をまとめたページになります。
0:06:56	10ページの村崎字は、前回、11月11日の10001090回審査会合以降に記載の充実、または変更を行った箇所になります。
0:07:09	後の本ページにデータの方を付けておりまして、
0:07:13	このデータで、追記、変更箇所、
0:07:17	変更した箇所についてご説明します。
0:07:20	まず11ページは、大坪は檀仁木建設時の地質観察データになりますが、
0:07:26	12ページの右側の岩級区分図を見ると、断層をの下盤側に、
0:07:33	下盤側には熱水変質していることを示す、強い'旧黄色いのA C A'旧の安山岩が記録していると、いうことを、
0:07:43	紫字で追記しております。
0:07:47	13ページは文献調査の結果になりますが、断層の位置に、断層等を示した文献はないということを追記しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:58	14 ページは、空中写真判読の結果ですけれども、断層に沿って、直線的な崖地形が認められますが、その延長方向に武智形や鞍部等が連続しないということから、
0:08:11	P R で変動地形は判読されないと。
0:08:14	評価したという記載を、見直し、強化の記載を見直し、見直しをしております。
0:08:20	1056 ページの地質調査、
0:08:23	ボーリング調査により、断層の性状、総合傾斜や破碎部の幅等を確認しておりますが、
0:08:31	断層を下盤側の安山岩は強く変質を受けており、軟質化しているということから、断層に沿って認められる直線的な崖地形は、
0:08:41	編集部の境界である断層を境に、差別侵食を受けたことにより、形成されたものと考えていると。
0:08:50	いうことを追記しております。なお、紫色、米印ですけれども、
0:08:55	差別侵食地形と判断した根拠としまして、断層上下盤の演出の違いや、硬軟の差を閉めず、定量的なデータを追加で取得する予定としております。
0:09:09	17 ページは、連続性評価の結果になりますけれども、
0:09:14	北方につきましては、これまで断層の北端を S9 孔と評価していましたが、
0:09:21	A 断層、福田断層西側を越えた位置で実施した、S9 孔で、断層に対応する断層が認められないことから、断層は福田断層西側を越えて連続しないと判断しまして、
0:09:35	北端を福浦断層西側との、
0:09:38	交点と評価しました。
0:09:41	南棟につきましては、ルートマップ中の表土範囲箇所断層が認められないことから、南端はルートマップ J の表土はぎ箇所と評価し、断層長さは最大でも、360 メートルであると評価しました。
0:09:55	なお紫色の米印ですけれども、南端と評価したルートマップ J につきましては、乾燥分布や破碎部等に関する地質学的色彩を、
0:10:06	充実させる予定としております。
0:10:09	以上の断層の分布性状を踏まえて、
0:10:12	18 ページからは、断層をの活動性評価について、再検討した内容となります。
0:10:20	20 ページをご覧ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:25	20 ページは断層の活動性評価方針をまとめたページになります。
0:10:30	これまでは、後期更新世以降の活動の有無が直接判断できる、①の地形面の変位の有無による評価と、
0:10:40	②の鉱物脈法による評価の二つを主たる根拠として評価していましたが、
0:10:46	第 2 回現地調査でご説明しました②の鉱物脈法データにつきましては、
0:10:52	断層の最終年と交付計画との関係が明瞭でないことから、断層の方の活動性評価の方針について再検討を行いました。
0:11:03	活動性評価の再検討にあたり、これまでの調査により取得したデータについて、
0:11:09	活動性評価をする上で十分な内容か。
0:11:13	どうかということを考察するとともに、拡充すべきデータについて検討し、活動性評価方針を取りまとめました。
0:11:22	活動性評価岡に関する評価項目は、①から④の四つありまして、①と②は、
0:11:30	こういう更新世以降の活動の有無が直接判断できる評価。
0:11:35	③と④は、後期更新世以降の活動性について、他断層の活動時期との相対比較の可能な評価であると考えております。
0:11:46	まず一つ目の項目である、①の地形面の併用運用による評価につきまして、
0:11:53	断層の直上には約 12 から 13 万年前以前の地形面または、
0:11:59	地層は残存しておりませんが、
0:12:02	断層の周辺には改正段丘面が広く分布していることから、
0:12:06	段丘面の編年を確認した上で、断層を挟んで分布する統一改正段丘面の高度分布を用いて活動性評価を行うことができると考えております。
0:12:20	なお今回評価の信頼性を向上させるために、段丘面の分布、年代の確認において、赤の※1 で示した段丘面調査のデータ拡充を実施します。
0:12:33	また、段丘面の変位の有無の確認におきまして、赤の※2 で示すように、岩盤上面の標高データを取得します。
0:12:44	これらのデータ拡充を行うことにより、断層の最新活動は高位段丘 I b 面の訂正以前であると評価できると考えております。
0:12:55	次に、②の鉱物法による評価につきまして、断層の最新増分は、最新ゾーンは I S 混合層が認められたことから、
0:13:05	最新面との切り合い関係を確認することにより、採決混合塑性誠意以降の活動の有無を評価することができます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:13	今後ついて、追加ボーリングから作成した薄片を、観察することにより、断層の最新面と鉱物脈との関係が明瞭なデータの、
0:13:23	取得を試みるという予定としております。
0:13:28	③の破碎部性状の比較からの評価につきまして、
0:13:32	断層は敷地近傍の別所だけ安山岩類に分布する断層でありまして、同層中の活断層である福浦断層と、
0:13:43	活断層である敷地内断層は、近接して分布しております。
0:13:48	福村断層と敷地内断層につきましては、これまでの調査により、それぞれの破碎部性状の特徴が明確になってきております。
0:13:57	従って、断層をの薄片観察等により、活断層と非活断層のいずれに性状が類似するかということを確認することができます。
0:14:09	なおデータ拡充としまして、下の※3で示すように、
0:14:14	実施済みの追加ボーリングにおきまして、観察、発見観察を実施し、
0:14:20	断層の破碎部性状を確認します。
0:14:25	このデータ拡充を行うことにより、断層の破碎部性状は活断層である福浦断層とは異なり、非活断層である敷地内断層と類似すると評価できると考えております。
0:14:39	④の切り合い関係からの評価につきまして、
0:14:43	A断層は、福浦断層に近接して分布していることから、福浦断層との相対的な新旧関係の情報を得るために、福田断層との関係について検討を行うことができます。
0:14:56	これまでられているボーリングや、
0:14:58	運動方向等のデータにより、断層は福浦断層を越えて連続せず、分岐や共役の関係でもないことから、福村断層に切られていると考えられ、
0:15:09	活断層である福浦断層の活動性、活動が古いと判断できると考えております。
0:15:16	この①から④のデータを踏まえて、下の黄色四角のところに、断層の活動性評価方針をまとめております。
0:15:27	①の地形面の変位の有無による評価の評価結果を根拠としまして、断層をの後期更新世以降の活動がないと、評価しまして、さらに③、
0:15:39	破碎部性状の比較からの評価と、④切り合い関係からの評価の評価結果が、①の評価結果と整合することを確認します。
0:15:49	なお②の公立学校による評価につきましては、今後説明性の高いデータがえられた場合には、活動性評価の根拠に用いることとします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:00	以上の活動性評価方針になりまして、21 ページ以降に活動性評価に関するデータをつけております。
0:16:09	22 ページ。
0:16:11	からは、①に関する段丘面の分布、年代の確認データをつけておりまして、
0:16:17	地形調査の結果、断層の位置する能登半島南西岸には、改正段丘面が広く分布することを示しております。
0:16:27	23 ページは、地質地質調査の結果、中位段丘Ⅰ面の全員において、被覆層から 10.5 万年前の火山灰である S K が確認されていること。
0:16:40	注段丘Ⅰ面、高位段丘Ⅰ面、高位段丘Ⅰb 群において、トレンチ調査の結果、改正堆積物を確認したということを示しております。
0:16:51	24 ページは、海洋酸素同位体ステージとの対比による改正段丘面の年代評価になりまして、中位段丘Ⅰ名は S K 勾配直前の、
0:17:02	高海面期である、M I S 5 e に形成されたと評価しまして、高位段丘Ⅰa 面は M I S 5 e より古い高海面期に形成されたと、評価しました。
0:17:13	高位段丘Ⅰb 面及びそれより上位の高位段丘面については、さらに古い高位高海面期に形成されたと評価しました。
0:17:24	なお高位段丘Ⅰ面や 1B 面には、赤色土壌が認められるという特徴を有することから、
0:17:31	次の 25 ページで、断層を周辺の地形面において、高位段丘面の特徴として認められる接触土壌の分布等に関するデータをまとめておりまして、
0:17:43	段丘面区分と概ね整合することを確認しました。
0:17:48	26 ページ以降は、断層及び福浦断層を挟んで分布する。
0:17:53	地形面の高度を比較したデータをつけております。
0:17:57	断層を挟んで分布する地形面の高度を比較するにあたって、
0:18:02	近接する活断層である福浦断層による影響を除くために、福浦断層と概ね平行する方向であり、海岸線と概ね平行する断面線を設定しました。
0:18:14	D'及び E'断面において、断層を挟んで分布する高位段丘Ⅰb 面に高度差は認められません。
0:18:24	27 ページは、断層をの本当延長、28 ページは、断層の南方延長位置の地形電断面を示しておりまして、いずれも、
0:18:35	段丘面に高度差は認められません。
0:18:38	29 ページは、福浦断層を挟んで分布する地形面の断面をつけておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:45	福浦断層の上盤側の
0:18:47	段丘面標高が、下盤側に比べてやや他高くなるということが確認できます。
0:18:55	30 ページは、①の評価の信頼性を向上させるために実施するデータ拡充の具体的な内容を示しております。
0:19:06	断層を挟んで高度差は認められないと、評価している。D'断面及びE'断面の高位段丘 I b 面につきまして、
0:19:16	高位段丘 I b 面と判断した、確度を高めるために、これまで段丘面調査データが獲られていない、紫色の楕円で囲った位置において、
0:19:28	既存のボーリングコアトレンチ観察、表土はぎ調査等を実施しまして、火山灰や赤色土壌等の分布に関する地質データを拡充します。
0:19:41	また、地形面の標高に加えて、岩盤上面の標高データを取得して断層を挟んで、同じ時期に形成された波食台の高度差の有無についても確認を行います。
0:19:54	さらに、D'断面、E'断面以外の A 断面図の追加を検討し、複数の断面による系統的な、
0:20:03	評価を行います。
0:20:07	31 ページは、鉱物脈法、②の鉱物脈法による評価になりまして、現地調査でご説明した通訳データをつけております。
0:20:17	このデータについては、最新面と鉱物脈との切り合い関係が明確でないことから、
0:20:23	今後、追加ボーリングから作成した薄片を観察することにより、説明性の高いデータがえられた場合には、活動性評価の根拠として用います。
0:20:34	32 ページは破碎部性状による評価で、適格対象である敷地内断層及び福浦断層のデータをつけております。
0:20:44	薄片を比較した結果、敷地内断層において、活断層のような明瞭な複合面構造や頂上構造は認められないなどの特徴があることを確認しました。
0:20:57	33 ページに断層と福浦断層の派遣を比較して示しておりますが、
0:21:03	断層の破碎部性状は活断層である福田断層とは異なり、敷地内断層と類似するものと考えております。
0:21:12	34 ページに破碎部性状に関するデータ拡充の具体的な内容を示しております、
0:21:18	断層の破碎部性状につきまして、一色活断層である敷地断層と活断層である福浦断層との比較を行い、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:28	どちらの断層に類似するかについて確認するために、
0:21:31	実施済みの追加ボーリングのコア観察及び薄片観察により、破砕部性状に関するデータ拡充を実施します。
0:21:41	次の 35 ページは、切り合い関係に関するデータになりまして、
0:21:47	福浦断層と断層の分布形態及び運動方向に関するデータをつけております。
0:21:54	ボーリング調査の結果、断層は福浦断層西側を越えて、下盤側に連続せず、
0:22:01	文献や分布形態、運動方向等のデータに基づけば、36、37 ページに示すように、両断層は分岐や共役の関係ではないと考えられることから、
0:22:14	A 断層は福浦断層に切られていると考えられ、活断層である浦断層よりも活動が古いと判断しました。
0:22:24	ただし、米印の記載になりますか。
0:22:27	福村断層は、約 12 から 13 万年前以降の活動が否定できないことから、戸倉断層との新旧関係に基づき、断層の活動性については、
0:22:39	明確には判断できないものの、断層の活動が福浦断層より古いことは、①の評価結果と整合性を確認できるデータであるということを記載しております。
0:22:53	以上は断層の活動性評価方針の説明になりまして、
0:22:57	38 ページ以降に、これまで述べた断層をに関する追加調査計画をまとめております。
0:23:06	39 ページに、これまでに示した六つのデータ拡充について、
0:23:11	調査の目的、内容、完了時期について、一覧表にまとめており、
0:23:17	40 ページに調査位置図を示しております。
0:23:22	41 ページ以降には、断層に関する既往データを添付しておりますが、
0:23:28	今回ご説明しました断層の活動性評価方針を踏まえた内容に、今後見直しを行い、ご説明させていただきたいと思えます。
0:23:38	資料の説明は以上です。
0:23:43	はい。ご説明ありがとうございます。規制庁の大井ですけどえーっとです、
0:23:50	それではですね、審査側から、
0:23:53	幾つか確認させていただきますまずですね、
0:23:56	ちょっと断層の評価方針っていうところのフローを使った図があると思うんですけど、そういう点について少しか、幾つか確認したいと思えますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:09	資料の 8 ページ。
0:24:13	をお願いいたします。
0:24:20	H e a d。
0:24:22	これ前回の会合ではついてなかったもので
0:24:27	上の方に、敷地敷地を中心とする半径 30 キロ半範囲の
0:24:33	30 キロ範囲の活動性の評価フローということで
0:24:38	これまで出していたものを、これまでの資料から持ってきてる。
0:24:43	もので、文献や、空中写真判読、
0:24:47	がどちらか該当するものについては、活動性の詳細評価を行っているというふうなフローだ。
0:24:54	であると。
0:24:55	いうことに対して、今回断層の位置付けっていうのを、前日も少し審査会合等で指摘させていただいた点だと思うんですけど、
0:25:05	その回答として断層をっていうのが、福浦檀、この下の方ですね福浦断層の
0:25:12	地質調査の過程で確認して、それで上の箱書きでも書いてますけど、
0:25:20	確認された断層であって、ここで確認される断層というのが敷地近傍にあることを考慮して、改めて、
0:25:27	この
0:25:29	A から D っていうのは、ちょっとまずここ確認させていただきたいんですけど A から D っていう、
0:25:34	の評価までの一連の調査っていうのは、上で行っている。
0:25:38	文献から活動性の詳細調査まで、すべて
0:25:43	ガッツリ行いますというふうなそういう意思を行ったって書いてますけど。
0:25:48	そういうことをす。
0:25:51	やって決着をつけ、ひょ強化を、
0:25:55	評価っていうか活動性もその後期更新世の
0:26:01	活動性がなかったっていうことを、
0:26:05	厳密に評価をすると、というふうな意味。
0:26:09	でしょうか。ちょっと確認させてください
0:26:13	はい。北陸電力の木村です。
0:26:15	今ほど、大井さんおっしゃられた通りでございまして、A 断層につきましても、改めて A の文献調査、B の空中写真判読を行いまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:26	Cの活動性及び長さの詳細調査を行って、Dの評価ということで、断層の長さは、360メートル、
0:26:35	でありまして断層をの後期更新世以降の活動は認められないと。
0:26:41	といった評価を行うと。
0:26:44	こういった流れで、評価を行う方針としております。以上です。
0:26:51	この資料8ページの中でちょっと僕2点ぐらい確認したいんですけど、
0:26:59	まずは、その活動性評価に、
0:27:02	法の何をすることでかつ、活動性が否定できるかっていうことに対して、
0:27:09	これ事業者の資料によると、この小さいAとですね、上の箱書きの小さな中、注釈のところですかね。
0:27:16	そのところに活動等の、2パラの辺りに小さな文字で活動性評価にあたっては約十二、三万年前以前の地形面または地層のずれや変形の有無の確認括弧上載地層、或いは、
0:27:30	字幕後は接触関係の鉱物脈法により評価を行うということなので、
0:27:36	これっていうのは要するに上載地層法化、鉱物脈法により、
0:27:41	評価を行うと。
0:27:43	そういう、
0:27:44	ことですよね。で、上載地層法っていうのはいわゆる、
0:27:48	ちょっとこれ、地形面のずれ、
0:27:51	も上載地層法っていうふうに、
0:27:53	御社は考えてるっていうことなんですかちょっと、すいません、ちょっと私の
0:27:59	認識の甘さがもし、知識不足かもしれませんがちょっと教えていただけますか。
0:28:06	穂苅電力の木村です。上載地層法というのは、地層のずれの変位の有無を確認するものでございまして、地形面の
0:28:17	上ずれや、変形の有無を確認するという点については上載双方ではないと、上載町と、とは別。
0:28:26	というふうに考えております。
0:28:31	つまり括弧書きっていうのはまた以降の、
0:28:35	また後についているもので
0:28:38	ちょっとちょっとごめんなさい、よくわかんなくなってきました。
0:28:44	地形面のずれは上載地層法じゃないっていうんだったら何でこの括弧書きが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:48	ここについてるのはどう読めばいいんですかちょっとすみません、私 が。
0:28:52	私だけかもしれませんが、ちょっと教えてください。
0:28:56	すみません。
0:28:58	小牧の上載層法というのは、地形面にはかかってなくて、または以降の 地層、
0:29:07	ずれや変形の有無の確認というところが変わっていると。
0:29:12	そういうそういう記載となっております。以上です。
0:29:17	はい。わかりましたありがとうございます。そうであれば今回主たる根 拠としているものは、
0:29:23	段丘面、いわゆる約十二、三万年前以前の地形面、
0:29:28	の、
0:29:31	変位の有無ですかね、高度差のことなので、
0:29:36	それは上載地層法に当たらないという理解でよろしいですか。
0:29:44	あ、
0:29:45	北陸電力木村です。その通りだと思っております、
0:29:49	上載地層法っていうのはあくまで地層の変位変形を見ると、地形面の変 位変形を見るというのは上載層法とは呼ばないと。
0:29:59	ということとしております。以上です。
0:30:02	はい、わかりました。
0:30:04	お考えはわかりました。ですね。それとまた8ページのところなんです がBのマルBって書いてるその断層をの
0:30:14	評価フローみたいなものがつくつ岸谷つけられてますけど、
0:30:18	このやっぱ、ちょっとこのフローを見て、
0:30:23	やっぱ疑問に思うのか、誰も疑問に思うんじゃないかなと思うのが各種 文献で示されない、リニアメント変動地形と判読されないということで 何で矢印がこう、
0:30:32	流れていくのかなというのはちょっと、この図だけぱっと見ると、少し わかりづらいんですがそれは、
0:30:41	上の箱書きで書いてある敷地近傍にあることを考慮して、
0:30:45	ていう。
0:30:47	その理由づけがそこに入っているということでしょうか。
0:30:51	ちょっと
0:30:53	事実関係お願い事実確認をさせてください。
0:30:58	小栗電力の木村です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:01	各種文献で示されない、リニューアルの変動地形として判読されないということを、断層を
0:31:08	について、改めて確認した上で、断層が敷地近傍にあるということを考慮しまして、その確認された断層の長さですとか活動性に関して、
0:31:20	調査、評価を行ったと。
0:31:23	そういった流れとなっております。
0:31:27	以上です。
0:31:34	はい、わかりました。
0:31:38	ちょっと
0:31:39	えーとですね、ちょっと教えていただきたいんですけど、他の市、
0:31:44	規制、敷地周辺の陸域キーに、敷地近傍でいいといいと思うんですけど5キロ範囲内で、
0:31:53	ある断層については、
0:31:59	そうですね。文献調査とカリニアメントを判読して
0:32:05	評価フローで流れた場合ですね、活動性の評価フローに流れた場合は、
0:32:09	その
0:32:10	詳細調査っていうのは、
0:32:13	調査所長再調査の中で、
0:32:16	えーとですね。
0:32:17	その段丘面の高度差で、後期更新世以降の活動性を評価して、したっていう。
0:32:24	断層はあるんでしょうか。あるんですけど。ちょっとすいません。資料。
0:32:30	少し持ってきてないので、教えてください。
0:32:38	近傍の断層で、段丘面の高度差で活動性を否定したものがあるかどうかというご質問でしょうか。そういうことすいません。
0:32:49	そういうことであれば近傍の断層では、段丘面の高度差で、
0:32:55	活動性を否定したというものはございません。
0:33:04	そごめんなさい。
0:33:09	なかったでしたっけ。
0:33:33	ちょっと少々お待ちください。
0:33:45	あ、規制庁のノダですけど、8ページの今、大井さんが、段丘面で、活動性を、
0:33:54	評価して、かつ、否定した例があるかっていうのちょっと今確認して、
0:33:58	過去の資料を確認しているんで、その前の二つ指摘した点、1点目は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:06	どこですかね。活動性評価フローのこのDの評価のところの下の※の履き、
0:34:12	記載ですかね。二つパラがあって一つ目は、審査ガイドの話があって、一つ目は活動性評価にあたってっていうところで、
0:34:22	これはちょっと誤解を生むんで、
0:34:30	んなんですかねえ。あんまり記載としては適切じゃないかなと思っていて、それはもうまさに大井さんが今指摘した通りで、
0:34:40	効果こういう書き方をされると、いかにもその審査ガイドに2パラのような記載があるように読めてしまうっていうところが1点と、
0:34:50	あと、2パラに関しては、これ、木村さんが12万、13、二、三万年前以前の地形または地層のずれや変形の有無の確認で、
0:35:03	後段の方が上載地層法ですっていうご説明をされたんですけど、ただ、それはちょっとですね
0:35:13	そうは読めなくてなぜかっていうと、この約十二、三万年前のっていうのはこれは多分両方にかかりますよね当然。
0:35:21	いかがですか。木村さん。
0:35:27	はい。約12から13万年前というのは地形面と地層の両方にかかりますので、そういった意味がちょっと読みにくい文章で、
0:35:35	あるというふうな、
0:35:38	ことから、この記載については、ちょっと見直した方が良いかなというふうに思っております。
0:35:45	北陸電力藤田です。
0:35:48	ガイドそのものの言葉を丁寧になぞって書いていませんので、ちょっと誤解を招く点であるとか、
0:35:54	日本的に確かに最後に括弧で上載層で書くと、前段全部がっていうふうな、当然読めてしまうのが日本語だと思いますんで、我々の趣旨は今木村が説明した通りなので、
0:36:05	そういった趣旨になるようにここは適正化させていただきたいと思えます。よろしく願います。
0:36:13	規制庁野田です。藤田さんありがとうございます。ちょっとここは繰り返しかけ2点ですね。初めに審査ガイドって書いているんで、審査ガイドにこのような記載があるように読めてしまうというのと、
0:36:25	あとは、繰り返しで上載地層法の説明がちょっとこれは、誤解を生むと思うので、記載の適正化をお願いできればと思うのが、思っ
0:36:38	とってます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:39	あともう1点が、これも今、大井さんから、工事の方からですね指摘のあった、
0:36:48	断層を、の、ここですね各種文献とリニアメント変動地形の後の矢印のところですね。
0:36:56	これもオオイ社のオオイのおし言う通りで、福浦断層は当然これ、文献でも示されているし、変動地形としても判読されるんで、ここに書いてある矢印の通り、右側に行って、詳細調査を実施するっていう、
0:37:12	ことだと思うんですけど、他方で断層はそうではないんで、
0:37:16	通常だと多分こうはいかないと思うんですよね。
0:37:20	従って、す。
0:37:22	何ですかね。
0:37:25	一つは、理由を書くっていうのがありますよね。御社がその敷地近傍にあることを考慮して、こういった文献にも半後は、リニアメントも判読されないのでも右に行くっていうことであれば、
0:37:37	理由を書くとか、あとは、ビジュアル的には同じ矢印じゃなくて例えば、塗りつぶしじゃなくてこう中をですね、
0:37:52	資料にしてしまって、ちょっと矢印の見せ方を変えろとか、少しそういう工夫が必要ではないかと思うんですけど。
0:38:03	この点はいかがですか。
0:38:06	北陸電力の藤田です。
0:38:08	私ども
0:38:10	同じような矢印で書いてますけど、当然説明した趣旨でいくと、上の標準的なフローの
0:38:17	青の太い矢印は、実際文献なり空中写真で確認したものに対してやるという矢印に対して、
0:38:25	断層の矢印っていうのは、一応これやったけどもやっぱりなかったっていうことなので、今は当然違いますので、そこは差別化するようにしたいと思いますし、
0:38:35	我々この長さとか、活動性のす。
0:38:37	詳細調査を断層についてやるっていうのは、繰り返しますけども、近傍にあって、福良ともかなり近接した位置にあるということ踏まえて、特別つつたら変ですけどもしっかりやろうということのモチベーションでやってますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:50	植野丸野から、これがあつたから長さとか数週間をやるっていうふうなモチベーションもありますんで、そういったところも含めてしっかりわかるような記載をしたいと思います。以上です。
0:39:04	規制庁ノダですフジタさんご説明ありがとうございました。はい。そうしていただけると、このフローこのフロー自体はですね、私非常にわかりやすく、
0:39:15	御社非常に工夫された何か工夫されたなんてのはその、今回断層がどうしてこう、俎上に上がってるのかっていうところが、非常に福田断層との関係も含めて、よくわかるので、
0:39:27	この図自体はですね、わかりやすいものを作っていただいてありがとうございます方です。ちょっと細かいところだったんですけど先ほど大井が指摘した2点のところは、少しこう誤解を生むとかですねあとはわかりやすさの観点から少し、
0:39:42	適正化をしていただくと大変助かります。
0:39:45	とりあえず、私からは以上で多分、オオイが確認したと思うんで
0:39:51	越智さんお願いします。
0:39:53	規制庁の大井ですけど、先ほど私、敷地近傍の他の
0:40:01	断層についての評価について少し確認させていただいて、見つかった断層については
0:40:10	要するに見つかった断層に対して活動性評価をするわけですし、
0:40:14	そう。そういうものに対して見つかったすいません、見つかった断層に対しては、段丘面の高度す高度差では、比較した例がないというような回答。
0:40:25	ということで、理解をしました。
0:40:29	この認識で間違いないでしょうか。
0:40:35	はい。
0:40:36	保険連絡秋葉です。敷地近傍におきまして、見つかった断層におきまして、段丘面、
0:40:43	高度差で規定し、活動性を否定した事例はございません。断層がないことを確認して、指定したという事例はございますが、
0:40:58	段丘面の高度差をもって活動性を否定したという事例は敷地近傍では、現在のところございません。以上です。
0:41:08	はい。ありがとうございます。今の
0:41:11	見つかってないものっていうのは、例えば和光台南の断層とか、そういうものについては一部多分

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:23	その断層、
0:41:25	すいません活断層研究会の方で、主断層の推定位置、
0:41:33	#NAME?
0:41:48	その通りです。長田付近の断層ですとかは構台、
0:41:53	南野断層ですとか、高津森 12 とか、高津森山東方っていうリニアメントがございますけども、これらは、
0:42:02	李阿部長田付近の断層はリニアメント判読変動地形を判読しましたし、それ以外のものは、リニアメント変動地形は判読されないと評価しておりますが、
0:42:13	地質調査の結果、すべての断層、
0:42:16	に対応する大断層がないということ、評価、
0:42:20	そして
0:42:21	断層そのものが存在しないということから、
0:42:28	伊藤先生、移行活動、
0:42:31	否定できない断層等ではないというふうに評価をして、
0:42:35	おります。以上です。
0:42:39	はい。ご丁寧ある。ありがとうございます。規制庁の大井です。
0:42:44	はい。お考え、理解できました。
0:43:27	甲斐規制庁カイダですけども、私の方からも、
0:43:32	確認ということで、
0:43:34	まず、この 5 ページに、最初の、
0:43:38	運営方針の説明というのがありますが、
0:43:42	朝、さっきの議論ともちょっと関係してるかもしれないんですけどまず左の考え方っていうところで、
0:43:52	後期更新世以降の活動の有無が直接判断できる。
0:43:57	ものとして①地形面の変位の有無による評価と、
0:44:03	②鉱物脈法による評価の二つをしてある。
0:44:08	根拠として評価すると。
0:44:10	そういったことで書いてあるんですが、
0:44:12	②の方は
0:44:15	今まで敷地内の方でもやってきたところであるんですが、
0:44:20	①の方なんですけれども、
0:44:24	これ確かに
0:44:27	地形面が広がりを持った地形面があって、
0:44:32	その下に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:34	断層がある場合とか、あそこ、かつその地層のずれとか、つまり上載地層まで見た。
0:44:41	場合だったら直接評価。
0:44:43	判断できるっていうふうにもいえると思うんですけども。
0:44:49	今回のような形で、離れたところで地形面がぽんぽんぽんとあって高さを比較するっていうのは、
0:44:56	これ
0:44:57	地形面の変位っていうそもそもいえるのか、その
0:45:01	地層見てないんだけど、直接、
0:45:04	判断できるっていうふうにいえるかっていうと、
0:45:07	ちょっとそこは直接とも言えないような、
0:45:10	分に今考えるんですけども、
0:45:14	ここら辺の趣旨をちょっと確認したいんですけどいかがですか。
0:45:25	北陸電力の木村です。
0:45:28	断層につきましては、確かに、その直上を覆っている地層ですとか、直上の地形面っていうのは、侵食によって残っていないということから、
0:45:42	上載地層法による評価っていうのができない。
0:45:47	というふうに考えておりますけども、一方断層の周辺には、高位段丘 I b 面、
0:45:55	という改正段丘面が広く分布しておりまして、
0:45:59	こういう段丘 I b 面については、
0:46:03	福浦断層を挟んで分布する高位段丘 I B 面を見ますと、系統的に、上盤側西側が、
0:46:14	高いという状況が認められると。
0:46:18	ということが確認できるに対して、対しまして断層群については、
0:46:25	断層を直接地形面はないんですけども、挟んで分布する段丘面に、
0:46:34	そのような系統的な行動差を持つ、
0:46:42	系統的な、段丘面のずれというものは、認められないというふうに、
0:46:48	ということが確認できるというふうに考えております。そういったことから、断層は活断層とは異なりまして、
0:46:56	高位段丘 I b 面の形成以降活動していないというふうに評価できるというふうに考えております。以上です。
0:47:07	カイダです。
0:47:10	断層については、地形面の分布等から、今おっしゃったような形で評価すると、そういった方針だということは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:21	当然わかるんですけど、
0:47:24	わかってます。
0:47:25	ただその点線で囲ったところの考え方っていうコマ、
0:47:29	大前提の何か評価歩。
0:47:33	なんていうか評価の大前提みたいなところ。
0:47:38	地形面の変位の有無による評価っていう、
0:47:42	が、断層直接判断というところに結びつくかっていうと、
0:47:48	かなり条件が整った場合、そういったこともあると思うんですけども、直上に直下に断層があるような地形面がまさに作ってるところの直下まさに、
0:48:00	そこんとかあと地層も確認した上での、
0:48:03	いわゆる上載地層、
0:48:05	それはわかるんですけどもそれが大きいがそうなのかっていうと、
0:48:11	必ずしもその直接判断できるっていうところに、
0:48:15	とは違うと思うんで、
0:48:19	この①が直接下に地形面の変位の有無による評価っていう断層も、
0:48:26	あたかもそうじゃないかというような書き方っていうのは、
0:48:30	ちょっと誤解を生むかなというふうに今か思うんですね。
0:48:36	確かに地形面とか上載地層でバッチリなところがあれば直接判断できるけれども、はちょっとそういう状況ではないので、離れたところで評価するというような、
0:48:46	書き方であれば、
0:48:49	わかるんですけどそのあたりは、
0:48:52	地形面を
0:48:53	見た上で直接判断できる場所っていうふうに、
0:48:57	のところっていうのは、
0:48:58	考えているということですか。
0:49:03	はい。
0:49:05	北陸電力の野原です。うん。
0:49:07	今真壁さんおっしゃる通り、断層というのは、その直上に上載地層があるわけではございませんので、確かにこの後当時に書いてありますように、直接判断というのは、
0:49:19	もう少し表現の適正化を図る余地があるのかなというふうに思っております。ただ我々としましても本当のダイレクトの上載地層法ではないにしても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:31	すぐ近くに広く改正案件が分布しておりますので、
0:49:35	上載地層法を準拠すると、そういったような位置付けで、今回、段丘面を用いまして、
0:49:42	断層の活動性評価を行っていきたいというふうに思っております。
0:49:45	ですので、この直接判断できるという表現、ちょっとそのような観点で、見直して資料の方に反映していきたいというふうに思っております。以上です。
0:49:57	カイダです。わかりました。今、野原さんおっしゃった通りで、ちょっとこの辺の直接判断できるかどうかというところについてはまた表現を修正して、
0:50:09	あんまり内容とそごがないような形で記載をお願いします。
0:50:16	あ、北陸電力の藤田です。
0:50:20	今考え方の①地形面の変位の有無に、
0:50:25	よる評価っていうのは、
0:50:26	まさに、
0:50:28	上載層そのものというふうに読み取られる可能性も十分ある表現ですし、
0:50:33	先ほどから何回も説明してるように、周辺に水分布するその地形面の高度差を見るっていうことを実際やろうとしてますんで、そういった趣旨がちゃんと伝わるような記載も含めて検討したいと思います。すいませんでした。
0:50:52	規制庁野田ですけど。
0:50:54	今、
0:50:56	カイダの方から指摘させていただいた、5ページの左側の
0:51:01	考え方のところですね、私も、
0:51:04	来まさに、
0:51:06	カイダさんと同じコメントをしようと思っていたところで、
0:51:10	ここも数、先ほどの8ページの、
0:51:15	ガイドとの関係なんですよ。
0:51:21	一応ガイドの中で、
0:51:24	この活動の有無が、
0:51:27	判断できるっていうのは基本的には、
0:51:32	上載地層法か、鉱物脈法しか。
0:51:37	ガイド読む限りではないんですよ。ただ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:42	御社が言いたいことは言わんとしてることは、ここにいる4名は十分認識していて、
0:51:53	この考え方のところの、
0:51:56	最後の方に主たる根拠って書いてくれ、書かれていて、
0:52:02	もうこれでわかってますよ我々は、
0:52:05	御社が、何を意図してるか、何を言いたいかっていうことは、
0:52:10	なんで、やっぱり、
0:52:13	藤田さんもおわかりだと思いますしそういう意味で、ごめんなさい。ご回答いただいたと思うんですけど。
0:52:21	やっぱりそのガイドとの関係で、
0:52:24	何て言うかね拡大解釈というか、
0:52:28	誤解を生むような記載は極力しない方が、
0:52:34	何ですかね、審査会合での審議がスムーズに行くかなと思いますし、繰り返しになるんですけど、これがないから、我々、エビデンスとして絶対認めるとか、
0:52:46	そんなことは思って乾ませんし、したら根拠っていうことでそこは十分我々は認識していますんで、
0:52:55	ちょっとその辺をお含みおきいただけると、
0:53:00	大変、
0:53:01	我々としても、
0:53:03	助かります。
0:53:04	カイダさんもそういう趣旨で、コメント、
0:53:08	したんだと私も思ってます。はい。以上です。
0:53:14	北陸電力藤田です。ガイドの記載をもう一度
0:53:18	確認してですね、その記載と誤解のないような、しっかりした事業者の考え方を記載したいと思います。以上です。
0:53:29	規制庁野田です。主たる根拠って書いてあればそれだけで、少なくとも私もカイダさんも、御社が言わんとしてることはわかりますし、
0:53:38	主たる根拠が、
0:53:40	何だとか、
0:53:42	これで後期更新世以降の活動が判断できるのかとか、そういうことは、言うつもりないんで、はい。大丈夫、安心していただければと思います。すいません割り込んでカイダさん以上です。
0:53:56	ついでに、今のに関連して、
0:53:59	これ一丸一番

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:02	断層が縦ずれ断層だというふうなこと前提で、
0:54:09	高度差があるかないかっていう、
0:54:14	ことで評価してると思うんですけども、これ横ずれ断層だったら、高度差ないわけですよ。
0:54:22	だから、高さだけ聴講さだけじゃなくて、
0:54:26	そういった運動センスとかそういったことも加えないと、
0:54:30	地形面の判断の有無だけで活動性、
0:54:34	評価できないと思うんですよだからその辺もちょっとここ、
0:54:38	誤解のないような書き方を、
0:54:42	と。
0:54:48	北陸電力の秋葉です。断層の運動センスにつきましてはすみません、37ページの方にデータつけておりました、
0:54:57	断層の13観察の結果、110度Rということで縦ずれは、
0:55:05	メインであると。
0:55:06	縦で主体であるということを確認しております。
0:55:09	こういったことから、まだ段丘面の高度差を持って、活動性を評価できるというふうに考えておりますので、そういったことも記載に加えたいというふうに考えております。以上です。
0:55:26	お願いします。
0:55:30	規制庁のカイダです。
0:55:33	あと、
0:55:35	別のページで10ページをお願いします。
0:55:42	その10ページの上の四角の中の、
0:55:46	空中写真判読っていうところですけど今回紫色で追加していただいたところ、
0:55:54	延長方向に崖地形、鞍部等は連続しないことから、
0:55:59	リニアメント変動地形は判読されないという、
0:56:03	ところなんですけど、そのさっきのお話の中で、
0:56:08	鞍部崖地形が連続しないってところんな、それだけじゃなくて、
0:56:15	断層を挟んで、一応2、なんか、片方側が高くなってらっしゃるんじや。
0:56:21	ないっていうところも、何か根拠にしているようなお話もあったんですけどもまさに今の、
0:56:28	宮脇が言ったこととも関係するんですけど、これ
0:56:32	なので、こういった地形の連続性だけじゃなくて、
0:56:36	片側にこう高い低いがあるんじやないっていうところも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:43	根拠にしてるんであれば、
0:56:46	空中写真判読結果としてそういうことを読んで根拠にしてるんであれば書いた方がいいと思うんですけどそれは
0:56:52	また別の話ってことになるんでしょうか地質調査の方の話ってことになるんでしょうか。ちょっとその確認です。
0:57:05	北陸電力の木場です。今ほどおっしゃられたように、
0:57:10	断層に対応する位置に、
0:57:13	田川一条に高い逆向きの堤内ですとか、福浦がそれな逆向きの堤外のような地形がないということを根拠の一つとして考えられると思いますので、
0:57:25	そういったことも追記したいと思います。以上です。
0:57:32	カイダです。わかりましたそういったところも、考えられてるんであればそういった考えをこの概要のところに書いてください。
0:57:43	これも同じような、
0:57:44	記述が、
0:57:46	14 ページにも、
0:57:48	ありますので、そこも、
0:57:51	一緒かなと思いますのでよろしくお願いします。
0:57:55	あと、
0:57:58	ちょっと細かい、
0:58:00	話になるんですけど 13 ページ。
0:58:05	これも新しくこう追記された、む済み、紫色の字なんですけど、
0:58:11	断層に対応する位置に断層等を示した文献はないという、
0:58:17	ことなんですけどこの断層等っていうのは、
0:58:20	これ、
0:58:22	活断層であれば、活断層とか何か、
0:58:26	バシッと書けばいいと思うし、活断層に加えて、
0:58:31	いわゆる普通の地質断層というか、そういったものもないんだっていう意味なのか。
0:58:37	そこの頭の意味ですね
0:58:39	何かこの冬凡例にある。
0:58:43	活断層以外の傾動とか撓曲もないって意味なのか
0:58:48	等の意味っていうのをちょっと教えていただきたいんですけど、いかがですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:55	はい。北陸電力の羽田です。断層等の等といいますのは、例えば13ページの右側の凡例の範囲。
0:59:03	ありますが例えば日活活断層研究会閾値で言いますと、
0:59:07	确实度3のような活動の活断層に耐えるリングと、とかの、
0:59:13	必ずしも弾性という表現ではないものの、文献がございますので、例えば22年度ですとか、僥倖ですとか、そういった表現等のそれらも含めてないということを示しております。
0:59:26	はい。以上です。
0:59:29	カイダです。わかりましたじゃこの凡例にある活断層その他要は活構造的なものっていう意味。
0:59:37	だっていうことで理解しました。で、
0:59:41	のすん小俣さらに質問というか、そうだね、質問なんですが、
0:59:48	活断層とは関係ない紙にしろなんかこう不服とか、その他論文で、
0:59:54	何かここにマップブルな、活断層じゃないけど、断層みたいなのが書いてあるものが、
1:00:02	すらないっていう。
1:00:04	そこはどうなんですか。そこは特に何か。
1:00:08	わからないということで、
1:00:10	でしょうか。
1:00:12	はい。小暮植村です。
1:00:15	我々が福田断層を文献調査する上で、13ページに示してありますような、分岐時は当然仕事に確認しておりますし、
1:00:24	ここに記載の中に産総研さんですとかそういったところも含む、すべて確認しております。
1:00:31	当然福田断層個別の文献もこの中に入れておまして、そういった文献づくり、いずれかいずれを確認しましても、こういった断層をに関する、
1:00:41	記載不足というのはされておられません。
1:00:44	以上です。
1:00:47	カイダですがわかりましたじゃ
1:00:50	ちょっとそそういったことであれば今少なくとも今の記述で断層等だけだと。
1:00:56	今、枯渴構造がないんです。
1:00:59	ここに書いてあるようなものがないっていうのがわからないですし、
1:01:03	いわゆるその黒、黒断層的なものも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:06	ないっていうこともわかってるんであれば、そういったことも趣旨も含めた記述にした方が、
1:01:14	わかりやすいと思いますので、ちょっとここの頭のところの、
1:01:18	書きぶりっていうのはちょっと、またちょっと工夫をしていただけますでしょうか。
1:01:26	はい。同文原です。今までのご指摘の通り記載の方、ちょっと検討したいと思います。
1:01:33	以上です。
1:01:44	これは規制庁カイダですみません続けさせていただきます。
1:01:51	ちょっと少し飛ぶんですけど、
1:01:56	22 ページをお願いします。
1:02:06	ぜひ、
1:02:08	このページ会合の出野さん。
1:02:13	指摘を踏まえて、多分追加されたと思うんですけども、
1:02:22	これ
1:02:24	まずちょっと確認なんですけれども、
1:02:27	真ん中のところが、
1:02:31	北陸電力の判読結果で、
1:02:35	右側が小池町田 2001 の、
1:02:41	追記バージョンということなんですが、
1:02:44	よくよく見ると、
1:02:49	ちょうど断層のところぐらいで、
1:02:53	旧汀線ラインみたいなものが、
1:02:57	ちょっと
1:02:59	真ん中と右側で違ってるとにも、
1:03:03	見えるんですけど、
1:03:06	旧汀線っていうの M I S 5 e の青い線っていうのは大体ほぼほぼそってそうなんですけどその 1 本、
1:03:14	上の、
1:03:15	何名。
1:03:17	7 の線を見ると、
1:03:20	これは
1:03:23	真ん中の線は断層をよりも海側でこう迂回してるようなふうに見えてんですけど、
1:03:30	右側の図を見ると断層を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:34	の部分を、
1:03:36	陸軍側の方まで食い込んだような形で書いてあって、
1:03:41	この辺りなんか
1:03:44	ちょっと文献と違うような
1:03:48	結果になってるようにも見えるんですけどこれは実際どういった評価なのかもしわかれば教えていただきたいんですけど。
1:04:00	北陸電力の秋葉です。
1:04:03	今おっしゃられた通り、断層のあたり、
1:04:07	M I S 7 か M I S 9 かっていうこの協会ませんが、少し
1:04:14	当社の
1:04:15	段丘面分布図と、文献の方と、
1:04:20	ちょっと位置が違うというところはございます。これにつきまして、どういうふうに考えているかということですけども、
1:04:31	ちょっと 14 ページも、
1:04:33	に断面図、
1:04:35	つけておりますので、そちらの方でご説明しますと、
1:04:41	こちらは、C C W D 断面というのは、後程断層をの、
1:04:48	その近くの断面ということになりますけども、
1:04:51	我々の段丘面区分というのは、まず、
1:04:57	このもともと南西なんで、一番広く分布している中位段丘 I 面、
1:05:03	これが M I S 5 e というふうに年代がもう確認できておりますので、この
1:05:10	中位段丘 I 面を基準としまして、それより
1:05:15	上の面については、
1:05:19	下から順番に、高位段丘 I a 1 B 2、2 年 3 年というふうに、
1:05:26	順番につけております。
1:05:29	この 14 ページの C C 断面 D 断面、
1:05:34	で示しているように、一番下の緑が F 1、中位段丘 I 面になりますけども、その 1 個上が、H 1 a、
1:05:44	1 個上が H B ということで、
1:05:49	どちらも
1:05:51	M 1 を基準にして、
1:05:54	2 行上の B。
1:05:56	段であるということから、この部分をこういう段丘 I B 面と、断層法のある辺りを、これ段丘 I B 面というふうに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:07	判断しております。こういった
1:06:10	航空レーザー計測で、
1:06:13	断面をしっかりと
1:06:15	切って、下から順番に、
1:06:20	1 段目 2 段目というふうに見て、年区分を
1:06:26	我々の方では、評価していると。
1:06:29	こういったやり方でやっております。
1:06:34	はい。以上です。
1:06:37	カイダです。
1:06:40	わかりました航空レーザー測量で、下から数えていくと今、
1:06:46	判読されたような図になると。
1:06:50	その結果が今、22 ページの真ん中の図ということで、作成の過程という かそういったところは
1:06:59	わかりました。
1:07:01	ちょっとその場合にちょっと気になるのは、右側の図で、
1:07:06	断層のところを見ると、もし文献の方に立ったとすると、
1:07:14	今、断層のある大坪がダムをすごく右岸の、
1:07:19	金毘森下山野湖、この間本群列ボーリングったところっていうのは、
1:07:26	その対岸の段丘面を
1:07:30	断面で比較しようとしたときに、これ、もしこの文献の書き方とする と、別の面を企画するというところに、
1:07:39	んなるんじゃないかなというところ。
1:07:41	が、あってそこは、
1:07:48	北陸電力の判読図だと、今、同じ面を比較するという形になるけど、
1:07:53	この文献によってしまうとこの別の面を
1:07:58	に対して断面図を切るという形になるんじゃないかなというふうにちょ っとこう、ちっちゃい図なんでわからないんですけど。
1:08:05	気になったんですけどどっちが正しいとかっていうところは置いてい て、
1:08:11	どうなんでしょうか文献によると別の面を比較するということになるん ですか。
1:08:21	藤。
1:08:22	ほくぎんの木村です。我々、30 ページで、
1:08:28	企画している段丘面、
1:08:31	これが文献では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:36	どのようにメンコンされているかということなんですけども、22ページの図ちょっと小さくてわかりづらいんですけども、
1:08:46	この3、30ページで比較している、
1:08:50	断層の両側の段丘面、これはどちらも、
1:08:55	M I S 7 の面、
1:08:57	というふうに読むことができました、
1:09:01	三角文献ではM I S 7 で当社の方は、こういう段丘 I 面ということで、1段ずれてはいるんですけども、同じ面同士を比較していると。
1:09:12	いうことは、いえるというふうに考えております。
1:09:16	以上です。
1:09:19	規制庁の患者数はわかりました。ちょっと図がちっちゃくて、
1:09:23	そのように見えてた。
1:09:26	というところでわかりましたで実際今後の調査結果等示される場合は
1:09:33	そのあたりもちょっと説明をしっかりといただかないと
1:09:38	わからないので、
1:09:41	いずれお願いいたします。
1:09:44	この22ページの旧汀線高度がずっと3、3段書いてあるんですけど、
1:09:51	こういったものでずっとこう、
1:09:54	まさにこの22ページの、
1:09:58	ところで、旧汀線高度が工具断層を跨いで、
1:10:04	変わってないっていうな、
1:10:05	そういった示し方っていうのは、
1:10:08	ていうかそういった、
1:10:09	ところっていうのは検討はされていないんでしょうか。
1:10:26	北陸電力の木村です。
1:10:28	断層を挟んで、旧汀線行動が、違わないかということなんですけども、断層の南方延長位置の、
1:10:38	中位段丘 I 面ですとか、
1:10:40	こういう段丘 I a 面、それについては、旧汀線高度、段丘面内縁標高というものを確認しております、
1:10:50	そこにずれはないということ、
1:10:53	確認できております。
1:10:55	ただ高位段丘 I b 面以上の面につきましては、
1:10:59	福浦断層が分布しているエリア内に入ってきておりますので、
1:11:06	旧汀線にずれがないかと言うことを見ると、福浦断層によるずれは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:14	若干認められるということで、断層を挟んで、高位段丘 I b 面の旧汀線 ニーズではないかという検討はできていないと。
1:11:25	ということになります。ただ、南方延長 1-1A 面と、
1:11:30	中位段丘 I 面については旧汀線の方との比較が可能であるというふうに 考えております。以上です。
1:11:39	カイダです。どうぞ、北陸電力の湯原です。今までのキムラの説明を少 し補足いたしますと、
1:11:47	この資料の 26 ページご覧いただきたいんですが、
1:11:52	キムラの質問を繰り返しになるかもしれませんが、26 ページを見ていた だきますと、
1:11:57	こう岩級 1 名と、こういう案件への旧汀線というのは、
1:12:02	断層を挟んで比較しようと思えますと。
1:12:06	フクダ電子の影響を受けてしまうと。
1:12:08	ということから福田断層の影響を、
1:12:11	どうしても受けてしまいますので、それを排除した形で、ランキングコ ードを比較しようと思えますと。
1:12:18	旧汀線同士の比較ではなくて、海岸線に平行もしくはそれがイコールほ ぼイコール福田断層とほぼ平行の測線ということで、現状を示しており ます。ぎりぎりだんですが、画面、
1:12:32	こういった形の比較の仕方になります。
1:12:34	先ほども述べました通り、元金 1 円の旧汀線高度で中断 1 中断一番旧汀 線ことにつきましては、断層を南方延長になりますが、
1:12:46	そういったところでは旧汀線同士の比較というのは
1:12:50	変わるという、そういった状態になります。
1:12:53	以上です。
1:12:57	規制庁のカイダです。わかりました状況はわかりました。
1:13:03	こういった質問したのは
1:13:05	24 ページとか見ていただくと、
1:13:09	中位段丘面のところは、旧汀線高度何メートルっていうのが書いてあっ て、以前、
1:13:18	以前の審査の時とかでも、
1:13:20	やっぱり段丘面の高度っていうのは、旧汀線のところで見ないといけな いんで、
1:13:26	旧汀線がちゃんと押さえられてないところの高さっていうのは、
1:13:29	参考んでしかないんだっていうようなお話も、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:34	あったかのように記憶してます。で、
1:13:37	そういった目を見たときに、
1:13:41	30 ページの断面の位置、
1:13:44	今ほど、
1:13:45	その 30 ページぐらいですかね。
1:13:49	このこの場所で、なんでここなのか。
1:13:53	ここ断面の位置にするっていうのは、
1:13:57	どうしてここここなのかっていうところの説明が
1:14:04	ちょっとあるとは思うんですけども、先ほどの、
1:14:08	ちょっと旧汀線の位置、
1:14:10	ではないのになぜこことか、ここが何で一番いいのかっていうところが、
1:14:16	ちょっとこう図面を見て、この資料見る限りちょっとわからなかったの で、
1:14:21	ちょっと確認し、
1:14:23	さしていただきました。
1:14:26	30 ページは、結局、今この断面の位置をここにしようというふうに今思 われてるのは、
1:14:34	直行方向だからっていうところ。
1:14:37	ていうこと。
1:14:39	で、旧汀線の場所。
1:14:42	ではないということで、よろしいですか。
1:14:47	北陸電力の羽田です。
1:14:51	これ 30 ページに示してある通り旧汀線の場所ではありません。
1:14:55	この 30 ページの上の学府たまるのに、先ほど江藤キムラ、私が言った ことを少し書いてありますが、その旧汀線のことにつきましては確かに ここに、
1:15:05	記載、ちょっと示しておりませんでしたので、
1:15:09	そういったこともこの 30 ページの
1:15:12	ところに記載を追記していきたいと思います。以上です。
1:15:19	はい。規制庁のカイダです。わかりましたその辺りを書いていただくと
1:15:24	考えが、わかりやすくなるかなと思いますのでよろしくお願いします。
1:15:44	規制庁の大井です。
1:15:47	ちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:49	私個人で教えていただきたいっていただけなんですけど、30 ページのところで
1:15:59	評価の今回加えられた紫色の字のところで、
1:16:03	最後のマルですね D'断面及び E'断面以外の断面図を追加を検討し、
1:16:10	複数の断面における系統的な、
1:16:13	評価を行うというのは、
1:16:15	これ以前ヒアリングでもやりとりがあったかもしれませんが、
1:16:20	この意味合いっていうのをちょっと確認したいんですけど
1:16:26	まずどういう断面を考えられてるのかっていうところと、
1:16:31	系統的なっていうのは要するに、
1:16:35	例えば行動高度差があったとしても、
1:16:40	福浦野瀬運動センスとかとは違うねとかそういうことを、
1:16:47	意味してるんでしょうか系統的なっていうのは、ちょっと教えていただけますでしょうか。
1:16:55	日比連絡秋葉です。
1:16:57	まず、
1:16:58	複数の断面を、
1:17:01	追加するというところで、これについては、この 30 ページ。
1:17:06	もう、このエリア、紫で囲ったエリアに限らず、
1:17:11	断層の、
1:17:13	分布するエリア、
1:17:15	それからその延長位置も含めて、複数の断面を切って、
1:17:21	行動されるのを確認するということを考えております。系統的な、
1:17:28	動作の確認と言いますのは、
1:17:33	こういったことかといいますと、29 ページの見ていただきますと、
1:17:38	29 ページは福浦断層を挟んで、分布する段丘面の絵の断面図になりますけども、福浦断層では、
1:17:47	複数の断面で、片側が一応 2、
1:17:51	数メートル高いと、というような系統的な高度差というのが認められます。
1:17:59	これが活断層の特徴として、段丘面に
1:18:04	あらわれる特徴だというふうに考えております。
1:18:08	こういったものは、断層にないかということを確認するために、断層を挟んで分布する段丘面、これに複数の断面を切りまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:19	系統的に、複数の断面で一様に、片側が高くなっているということはいかどうかということを確認する。
1:18:28	一応に高くなっていれば活断層である可能性がありますし、そうでなければ活断層ではないと。
1:18:35	というような評価ができるというふうに思いますので、
1:18:39	そういうそのような、
1:18:43	複数断面を作成して、複数の断面で、一応2どちらが高くなってないかということを確認すると。
1:18:50	そういったことを行うという意味でこの4ポツ目の記載をしております。以上です。
1:18:55	はい。ご説明ありがとうございます。慶長の大井です。こちらの説明、理解できました。
1:19:02	もう1点この点前回の会合と照らし合わせますと、この辺って結構石渡委員も何かこう、詳細な部分について、
1:19:12	少し高度差の、福田断層との違い、工夫断層は2、3メートルぐらいありますよね。では、
1:19:20	それ以下の精度でできるんでしょうかそれに対しての何かこう、
1:19:25	試みの何かこう追記とか、なんかそういうのを、
1:19:30	ちょっと今僕、探せなかったんですが、
1:19:33	何かどどの辺に、もしも書かれてあればですね、何かちょっと教えていただきたいんですが。
1:19:40	そういうところありますでしょうか。
1:19:50	はい北陸電力の大原です。
1:19:52	先月の審査会合で仕分け人おっしゃった福浦断層が2から3メートルなので、仮に断層がそれよりも、
1:20:02	小さい断層であれば、それ以外の制度で議論しないと駄目だろうと、そういったご指摘だったと思います。それに対して、我々
1:20:13	今ほど木村も言いましたように、ある一つの断面が仮に
1:20:17	東側がかなり低い。
1:20:20	ということではなくて、今ほど言いましたように、一応に複数断面で評価するということを試みております。ここで見る際に、30ページの地形断面図、二つ示しておりますが、
1:20:33	その下に紫で1ポツ目に書いてありますが、
1:20:36	この辺りの地形断面図は航空レーザー計測で、0.1メートル。
1:20:42	精度の標高値を持っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:45	我々このそういったコードを比較する際には、その0.1メートル単位で単位での標高値を示して、しかも複数の断面、
1:20:56	そういったものについて、こういう検討を行っていききたいと。
1:20:59	そういった
1:21:02	予定にしております。
1:21:03	以上です。
1:21:05	はい。わかりましたコックレーザ計測のデータによる1メートル単位での標高値、
1:21:12	かつ複数の断面ということで
1:21:15	十分というふうに事業者考えているということはお考えはわかりました。
1:21:20	この点私からは以上となります。
1:21:27	ちょっと、宮宮脇です。
1:21:29	あそこ関連して確認したいんですけども、
1:21:34	この24ページとカイダとか、今あった話。
1:21:38	と関連するんですけども、
1:21:41	段丘メインで海側に、
1:21:44	傾斜してますよね、浸食の影響で、
1:21:48	旧汀線行動で比較するというのはわかるんですけども、こういった
1:21:53	傾斜した面で、この断面を、
1:21:56	作成して比較するというのは何かよ。
1:22:02	どうなんすかね。傾斜したものと土で比較するのって
1:22:09	正確な
1:22:10	標高差ってのはかれるもんなんですか何か戦略はお持ちなんですか。
1:22:16	送り連絡をキムラです。
1:22:19	段丘名は、若干海側に傾斜しているということもございますので、断面を切る際には、改元、海岸線からの距離、
1:22:31	を見まして、海岸線と概ね平行になるように切れば、傾斜している、
1:22:40	段丘面が傾斜してありまして、
1:22:43	その影響は排除できるのかなというふうに考えまして、断面を切る際には、海岸線を見まして海岸線からの距離が概ね、
1:22:54	同じ。
1:22:55	になるように、海岸線とほぼ概ね平行になるような方向で、断面制を設定すると。
1:23:02	いうことを考えております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:06	そうですか。
1:23:08	それでやってん訳にいかれるということなんですちよっと結果見てみないと、それはわからないんで、お願いします。あと
1:23:15	旧汀線行動について、
1:23:17	評価については、
1:23:19	もうわかってるといってはなCなんですけどこれも、断層両側で示していただけるといことでよろしいんでしょうか。
1:23:27	延長の方向になるかと思うんですけど。
1:23:34	送り燃料の置き場です。
1:23:37	断層の南方延長になりますけども、中位段丘Ⅰ面と高位段丘Ⅰa面につきましては、旧汀線合同段丘面内縁標高ですか、そういったデータをお示ししたいというふうに考えております。
1:23:51	以上です。わかりましたよろしくお願いします。
1:23:59	カイダですか、規制庁カイダです。
1:24:02	ちょっと関連した形になるんですけども、
1:24:09	64 ページをお願いします。
1:24:16	64 ページ今、
1:24:18	旧点線構造は海側じゃないと福浦を挟んだかてしまうのでちよっとこう、
1:24:25	対比できないということで南方延長というところのお話はありました。
1:24:31	ただこの 64 ページの図とか見ると、
1:24:35	その斜線が書いてある段丘面、
1:24:38	これ何面かな。
1:24:42	1B面ですね1B面は、
1:24:45	C C'断面っていうのは、Cの方が、もうまさにちょうど
1:24:52	この図を見る限り、
1:24:54	旧汀線のあたりで5 起点にしてるんですけど、
1:24:58	C'の方は、
1:25:02	ちよっと旧汀線から離れたところの方に向かっていってると。
1:25:07	これをなんかまさにこのABと平行に書くようにしたらちょうどこう、
1:25:13	福村断層の影響を受けないようなところに、
1:25:17	1B面の、なんていうか、旧汀線同士で、
1:25:21	比べられるような気もするなあと思いながら、増眺めてたんですね。で、
1:25:28	これ確か断層はもうそこまでできてない延長部、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:32	ではあるんですけど、
1:25:34	さっき南方延長であればっていうこと。
1:25:37	だったので北方延長でもこういったところは、候補にならないのかなというところ。
1:25:45	と、あとC C'を何かあえてこう来こういうなちょっとこう、
1:25:52	イレギュラーな方向に切ってやるっていうのは
1:25:55	何かこうやっぱり事情があるっていうことなんでしょうか。
1:26:00	北陸電力の野原です。64 ページのc C'につきましては、そこで福田断層の下盤側からの距離を合わせたというのが
1:26:12	こういった方向にした理由となっております。当然今ほどカイダさんおっしゃったように、らしいですがV sと同じような方向でお示することも可能、当然可能ですので、
1:26:23	そういったことも今後の資料にも反映していきたいと思っております。
1:26:27	以上です。
1:26:29	規制庁カイダわかりました福浦断層との位置関係を考慮してこうなるっていうところはわかりました。
1:26:37	あと、
1:26:39	今おっしゃったように今の段丘面行動、企画っていう点ではちょっと旧汀線の方でも、
1:26:45	また
1:26:47	検討をお願いしたいなと思っております。
1:26:51	ちょっと今ついでに聞くっていう形になるんですけどこのCのところです。
1:26:57	どっかのページに出てたんですけど、
1:27:02	何かここ造成地みたいになってたりして、
1:27:06	してて、
1:27:08	ここは何かもう、
1:27:11	あれですか、今は旧古い地図でしか議論できないというそういったことなんでしょうか。何かどっかで赤色立体図見たら綺麗な形に、
1:27:23	四角で切っただけのようなのが、見たような記憶あるんですけどちょっとこの現地の状況と、
1:27:28	20、
1:27:31	22 ページ。
1:27:35	22 ページも、
1:27:38	ちょっとその辺の状況をちょっと教えていただけますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:44	ちょっと多分、
1:27:48	はい。北陸電力スモリです。68 ページの赤色立体地図は見やすいのでこちらでご説明させていただきます。
1:27:56	68 ページの真ん中の、
1:27:59	赤色立体地図になりますけれども、これが現地地形 2007 年に実施しておりますが、現地地形の
1:28:06	レーザー計測の結果から作成しております、カイダさんおっしゃいました通り、先ほどの H1B 面は現在こういうふうに変更されて、
1:28:16	改善されたような、1 件目になってございます。
1:28:19	先ほどの C C' 断面は、これ変更前の旧地形で、コード見ておまして、現在この場所なんですけれども、ほとんどの面はこのように切られてるんですが、一部
1:28:32	黄色のところは、檀木部の中である程度確認できるかなというところもございますので、こういったところについては
1:28:41	段丘面の現地地形が部分的に残っているかもなどそういう状況でございます。以上です。
1:28:50	規制庁の甲斐です。わかりました。状況わかりました。いずれ、
1:28:54	C C' の方、C 断面の方で検討される時に何か、
1:28:59	必要があれば何かすん何か、まだ材料が取れるかもしれないという状況だということを承知しました。
1:29:10	はい。私からは以上です。
1:29:29	ちょっと石渡先生が少し気にしてたんですけども
1:29:34	今フィールド歩いていただいて指導とか観察されてると思うんですけども改正段丘である、この
1:29:40	調査してるところが改正像であるっていうふうな、
1:29:45	こん供試具体的な
1:29:47	根拠資料っていうのも、
1:29:49	これまでにいろいろ調べていらっしゃったかと思うんですけどそういうものをちょっと示してもらいたいんですか。
1:30:01	北陸電力の木村です。改正段丘で、今まで
1:30:06	トレンチ調査を行う日、行いました No.2 トレンチですとか、その駐車場南東トレンチとか、
1:30:13	大坪がダム、マントルウェッジといったところで、改正堆積物を実際に平均しエンドですとかそういう

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:24	定量的な評価に基づいて、解体物を確認している箇所がございまして、それは敷地外の資料ではつけておるんですけども、
1:30:33	今回のこの資料にも、
1:30:36	実際に確認した地点ということで、お示ししたいというふうに考えております。以上です。
1:30:44	よろしく申し上げます。
1:30:57	規制庁野田ですけど。
1:31:00	そうですね。
1:31:05	いくつかあるんですよ。まず、
1:31:08	さっき、
1:31:10	カイダの方から幾つか確認させてもらった
1:31:15	駄目起きる位置は、
1:31:19	何でしたっけ 30 ページだったかな。そうですね。福良断層と概ねに平行であったり、あとは海岸線とも平行な断面って、
1:31:29	いうふうに、30 ページの二つ目の丸のところ書かれてるんですけど、
1:31:34	ここは多分、
1:31:38	各断面どういう、
1:31:40	理由、どういう考え方で切ったかっていうところはそこは明確にしてみました方がいいかなと思いますんで、
1:31:49	今、
1:31:50	あれですかね、この 30 ページの二つ目の、
1:31:53	丸で書かれている。
1:31:55	福浦断層と概ね平行と海岸線。
1:31:58	かつ、海岸線とも概ね平行というので、
1:32:02	全部説明できるのかなあ。
1:32:04	説明してもらえるのかな。
1:32:06	うん。いずれしてもそこは明確にする必要があると思いますんで、よろしく申し上げます。
1:32:14	あと資料全般にわたってっていうか、
1:32:20	11 日の審査会合を踏まえて、今回こういった資料を出してもらって、
1:32:27	私個人的なことを言うと、こういうイメージですね、出してもらいたかったのは、少し方針というところに寄ってしまって、調査データの方が、
1:32:39	前回中なくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:42	すいません介護でああいった指摘をさせてもらったんですけど、構成であるとか、あとは内容、あと、情報量ですかね、紫のところ、前回会合以降について、
1:32:56	変更してもらっているんですけど、
1:32:59	俺、御社と
1:33:01	ヒアリングをやると、
1:33:04	いろいろ聞くと、御社回答してもらって、いろいろ考えられてるとか、データ取られてるってのがわかってるんですけど、他方で、よく
1:33:14	何ですかね、当会合資料にはそういったことがなくて、すいません。そういったところを追記してくださいというやりとりがよくあったんですけど、今日は、
1:33:24	そういったことがあまりなくですね私ももちろんもいただいてから、中身確認させてもらって、構成内容情報量、こういった形で出してもらえて、非常に審査する側としては、助かっております。
1:33:41	それで、ちょっと内容のところ、幾つか確認しつつ、確認させてもらえればと思うんですが、順番に確認させてもらえればと思うんですが、まず8ページ。
1:33:52	冒頭でもオオイの方から幾つか確認させてもらったところがあるんですけど、私はですね上の箱書きの二つ目のマル。
1:34:03	断層はから始まるところで、
1:34:07	ここがですねちょっとフロートを、
1:34:09	下にフローはBのフローが下にフローがあって、フローと合わないかなと思ってるんですけどこれ断層の後に、いきなりその文献調査、空中写真判読のいずれにおいても抽出されないがってきちちゃっているんですけど、
1:34:24	私はこうじゃないかと思う。こうじゃないのではなく、赤穂ではないかと思っていて、
1:34:29	これはあれですねその次のパラがスタートですよ多分A B A Bなのかな。いずれもその福浦断層の調査の過程で見つかって、
1:34:39	断層分布を確認するにあたって、こういう大坪がダムデータのデータとかを確認した断層なんですけど、
1:34:48	文献調査とか、空中写真判読のいずれにおいても確認されないっていう。
1:34:55	のが下のフローと合うんじゃないかと思うんですけど、まずこの点はいかがですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:32	ちょっと、
1:37:34	極端な言い方すると、評価してない評価、うん、詳細な評価はしてないっていうそういう断層が存在してるんですけど、御社の場合は5キロ以上遠にそういう断層はありますか。
1:37:52	ですね、牛田です。
1:37:55	今皆さんのコメントで思い出すように、ぱっと思い出したのは落ち方が相当の南側にですね大津山北方断層ってのあります、桑名伊佐さん木野断層ですね地質断層ですこれは地質図産総研の府川。
1:38:11	そうですねマッピングされて東西方向の、
1:38:14	そうですがこれあくまで地質調査で、産総研さんなり、確認した断層ですが変動地形としてはありませんので、日活であったり、最近の変動地形マップでは、
1:38:26	ございません。ちょっと事情がありましてそれは、当然我々変動地形としては、抽出してませんので、投票には挙げてない断層となります。ただしそういった、
1:38:37	断層ってのは、ございます。
1:38:40	以上です。
1:38:42	吉田さん。規制庁野田です。吉田さんご説明ありがとうございます。それは、周辺、多分周辺の話邑知潟の方なんで5キロから遠いんで周辺の方になると思うんですけど、そうするとそれは、
1:38:56	物件にも出てこないですし、文献では主要な文献にも出てこないですし、変動地形リアメントにも、
1:39:04	もう読めないんで、
1:39:06	俎上に、評価の書状そ、活動性評価というかなんての断層評価の俎上に上がってこない。
1:39:15	そういう扱いをされてるってことですか。
1:39:22	吉田ですが、そういった層も当然網羅的に抽出見ながら見ますが、まず文献の中で、3期の第3期の断層という形で、
1:39:32	大きくくりで、古い、古い断層だという記載が、もし条件としてあればですね、そういったものは当然外しておりますが、第4紀に活動した可能性が、
1:39:45	可能性として指摘されてるものがあれば、そこはチェックしていたかと思えます。はい。
1:39:53	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:58	規制庁野田です。遊佐さんご説明ありがとうございました。わかりました周辺だとそういったものがあって、今の予算の説明だと、ディスクの中の例えば解説書で、
1:40:10	活動性、最新活動時期がわかるような記載があれば、それに応じて、見ていくものを見ていないもの、見ていかないものっていうものを、
1:40:23	取捨選択されているということで、わかりました。承知しました。
1:40:29	はい。
1:40:30	あとはですね、
1:40:33	どこだったっけな。
1:40:35	8 ページこれ全然細かい話で、
1:40:39	下のフローの福浦断層の方ですかね各種文献で示される多分示されているから示されているすいません。細かい日本語の問題だけですね。多分断層の方は各種文献で示されていないから、
1:40:52	示された、示されていない。
1:40:55	すいません、細かいところ。
1:40:57	あとは、
1:41:06	そうですね 20 ページ、20 ページ。
1:41:13	あの冒頭に少し、オオイから確認させてもらって、事実確認をした、ここにも、20 ページにも後期更新世以降の活動の有無が直接判断できるっていう記載が、
1:41:26	上の箱書きであったりあとは、下のフロー、フローというか、
1:41:30	方針ですかね方針ところにもあるんで、ちょっとここも併せて、ご確認いただければと思うのと、あとは、一番左の①の地形の変位の有無の評価のところ、
1:41:44	評価の概要があって一つ目で、段丘面の分布年代の確認がある※1 か。
1:41:52	*の1のところの2行目、火山灰や赤色土壌の分布、これは分布ですかそれと標高を確認しているっていう。
1:42:03	ことですかねここは。
1:42:04	ちょっとそこか、事実確認させてもらっていいですか、分布標高を見ている。
1:42:09	この点はいかがですか。
1:42:13	北陸電力の木村です。火山灰は、赤色土壌の、
1:42:18	表、標高というよりは有無を確認していると。
1:42:25	赤色土壌は火山灰の有無を確認しているという、
1:42:30	そういうそういう意味でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:33	以上です。
1:42:35	規制庁ノダです。木村さんご説明ありがとうございました。ただ、有無はあれですか段丘面の年代を特定するので火山灰とか赤色土壌の
1:42:45	分布の有無を、分布の有無を確認してるってそういうことですね。わかりました。ごめんなさい。標高かと思ってしまったんですけど、そのうち標高はだから次のところってことで次のステップってことですね。
1:42:56	はい。
1:42:57	起こりました。
1:42:59	わかりました。了解です。多分、この方針のところもおそらく、青いところが主たる根拠で、赤い③④が
1:43:11	補強データとか補足データとかそういったことってことですかね。具体的には他断層、福浦との活動時期との相对比较が可能な評価ってそういうことですかね。
1:43:25	わかりました。はい。
1:43:27	あとは、
1:43:32	等、
1:43:34	そうですね。
1:43:36	うん。
1:43:39	そんなところですかねえ。
1:43:42	はい。
1:43:43	あとは、39 ページかな。
1:43:46	39 ページ、断層の追加調査計画ってということで、少し完了時期なんかを入れてもらっているんですけど、
1:43:56	次回会合をやる時ですね。
1:44:00	部長からリクエストをもらっていてそれはなぜか、何かというと、現地調査の指摘事項の進捗を、説明してもらった方がいいんじゃないかと言われました。従って、
1:44:15	近傍近傍近傍、
1:44:19	断層も含めて、断層かこれは断層はここを使いながら少し調査の進捗なんかを
1:44:29	ご説明いただければと思いますし、
1:44:33	あとは、それ以外のもの、4 ページか 4 ページのところに、敷地周辺の話があって、ここにも、現地調査の、
1:44:45	指摘事項ですかね福田断層関係がありますんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:48	少し、4 ページとか、近傍に関しては 4 ページとか、あとは 39 ページですかね、39、40 か、この辺使いながら少し、調査の進捗を
1:45:00	ご説明いただければと思うのと合わせて、敷地内で、敷地内は、冒頭木村さんから、今回は、
1:45:10	敷地内の方のコメントは外しましたというご説明があったんですけど、ちょっとそういうリクエストがあって、なかなかコメントリストがなく説明するのも、周りの人、
1:45:23	わかんないと思うんで申し訳ないんですけど、前回同様に、敷地内のコメント一覧も、こっちにこっちにとというか、今回の資料に入れてもらって、
1:45:35	少しそれをベースに、
1:45:40	調査の、
1:45:42	進捗状況、あとは、
1:45:48	でもそうかこの間資料もらったからそこにもう反映されているのか、
1:45:53	いや、調査の結果とか、
1:45:56	ご説明いただければと思うんですけど、その辺いかがですか。
1:46:04	北陸電力藤田です。
1:46:06	今近傍の方の 4 ページのコメントをいただいた分についても対応してますんで、こちらの
1:46:13	工程をわかるような形で、進捗御説明する資料を追加したいと思います。その中で当然断層も入れてですね、近傍全体こういうふうに進んでるってところをお示ししたいと思います。
1:46:24	併せて敷地内につきましては資料の方、もうすでにお出ししてる状況ではございますけども、
1:46:30	いろんな方が見てらっしゃる場ですので、事業者としても、こういう形で図、
1:46:37	調査をして小池考えられたってところを少し、
1:46:40	簡単にお示しできる資料を追加したいと考えています。以上です。
1:46:47	大瀬フジタさん、規制庁野田です。ご説明ありがとうございます。資料多分追加し、資料の追加っていうあれかな。
1:46:56	コメント一覧を追加するそれともそれ以上の資料を追加する、どちらになりますか。
1:47:03	進捗っていうお話、藤田です。進捗ということだったので、敷地内についてはコメントリストに対して、どういう調査をやってどういう結果られたかっていう少し簡単な進捗結果っていうのを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:16	お求めなのかなと思ってそういう趣旨で回答しましたけども、コメントリストだけつけて、
1:47:23	調査済みとかそういう簡単なことでよければ、リストっぽいものだけっていうことでも対応は可能です。
1:47:31	規制庁ノダです。すいませんやっぱり私の、
1:47:34	説明が下手くそですいません。もう、特に新たな資料は必要なくてですね、前回の 11、11 日の審査会合資料 4 ページに、コメント一覧があるんで、もうこれを戻してもらっただけで、
1:47:50	大丈夫です。資料としては、説明は少し、ここから膨らまし膨らましてというかこれをベースに、少し進捗であるとか、結果とか、口頭でご説明いただければと思ってますんで、新たな資料は特に必要。
1:48:06	ないです。
1:48:07	いかがでしょうか。藤田です。承知しました。前回敷地内の方には資料の 11 月中に取りまとめというような形で、下にちょっと書いてあったかと思うんですけども、
1:48:19	コメントリスト全体に対してどういう進捗かというのを簡単に、口頭なり一行文書である程度で対応したいと思います。
1:48:28	以上です。
1:48:30	規制庁野田です。ご説明ありがとうございました確か 4 ページ、下に、11 月下旬をめどに資料の取りまとめを実施中ってあるんですけど、これだけ取り、
1:48:40	取りますかねちょっとん時系列が合わなくなっちゃうんで、これ 4 ページのあそこは当然、
1:48:46	お出しするタイミングの状況にあった内容にしたいと思いますんで、
1:48:51	適切に対応します。
1:48:53	規制庁野田です。ありがとうございます。
1:48:57	はい。そんなところですかねえ。
1:49:03	はい。
1:49:06	はい。私からはいいんだよな。
1:49:09	うん。以上になりますけど。
1:49:13	他、
1:49:14	皆さん何かありますか、あればお願いします。
1:49:43	ではですね規制庁側からコメント、ないようですので、何ですが北陸電力の方から最後に何かございますでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:56	事実確認ありがとうございました。議論なり、確認していただいてこちらで対応すべき点、ありますのでそちらの方しっかり対応したいと思います。以上です。
1:50:07	はい。それでは本日のヒアリングはこれで終了したいと思いますのでお疲れ様でした。
1:50:16	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。